

CISSP 保有者の年収

日本の相場を解説

正社員・フリーランス別の年収戦略
平均 800 万台・月単価 76 万円の実態と活用戦略



維持費で赤字にならないでしゅか？

数字で見れば費用対効果は明白だ





セキュリティプロ・フリーランス

登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した
専任エージェントが伴走



フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

● 正社員 CISSP 保有者の年収レンジ



セキュリティエンジニア

実務数年で 450 万～ 650 万円



CISSP コンサル

650 万～ 1,000 万円が現実レンジ



年収の核心

マネージャー層は 1,000 万～ 1,500 万円超も視野に

● 年収アップにつながる3つの経路

1

資格手当・一時金

合格時の一時金や月数千～数万円の手当が直接上乘せされる

2

上流ポジションの入口

コンサル・役職昇進時に前提条件クリアとして評価される

3

転職・案件交渉材料

より高い年収帯のポジションへ移る際の加点として機能する

手当より、上の椅子を目指せ



● 20～30代が積むべき4つの経験

1

SOC・ログ分析

セキュリティ監視チームでのログ分析・運用実務

2

脆弱性診断

ペネトレーションテストの実務経験

3

インシデント対応

フォレンジック初動・対応体制の経験

4

クラウド・ID管理

クラウドセキュリティやID管理の設計補助

経験の幅が受験資格の土台になる



● 35歳以降：年収が分かれる2つの路線

マネジメント路線

GRC・コンサル・PMO

- ・セキュリティ責任者
- ・GRCコンサルタント
- ・役職とともに年収上振れ

VS

専門特化・技術路線

診断・クラウド設計

- ・ペネトレ・脆弱性診断
- ・クラウドセキュリティ設計
- ・希少スキルで単価勝負



分岐の核心

35歳は上がりではなく選択点。強みで管理か技術かを選ぶ

● セキュリティ三大資格の位置づけ



CISSP

8ドメイン横断。マネジメント層も評価される国際認定



安全確保支援士

国内唯一のセキュリティ国家資格。国内企業で評価高い



Security+

CompTIA 認定の基礎～中級の国際資格。IT全般の証明に

CISSP と支援士は競合せず補完関係。両取得者も多い

● 国際認定と CPE が評価される理由



外資・グローバル案件

世界共通基準で海外拠点でも即通用する



CPE 継続教育の仕組み

学び続ける前提が保有者の信頼を裏づける



評価の核心

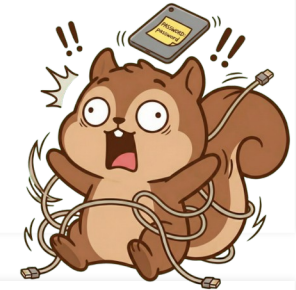
ガバナンス・CSIRT 体制構築の上流案件で国際認定が説得力を持つ

● 日本 3,000 人の希少性が単価を押し上げる



世界 15 万人・国内 3,000 人

ISC2 Japan 2024 年時点の公表値



世界 480 万人の人材不足

ISC2 2024 年調査。需要過多が続く構造



希少性の核心

少ないから値がつく。需要多・供給薄の市場が単価を押し上げる

● 受験・認定に必要な2つの要件

1

業務経験5年

CBK8 ドメインのうち2分野以上で合計5年以上。学位等で1年免除可

2

エンドース（推薦）

現役 ISC2 保有者による推薦が必要。身近にいないければ ISC2 が代行

推薦者の壁は越えられる



● 維持費の実額と費用対効果



受験料

749 USD (約 11 万円台・為替変動あり)



年会費 (AMF)

135 USD/年 (月換算で約 2,000 円弱)



費用対効果の核心

年収が 50 万円上がれば維持費は初年度でほぼ回収できる計算

● フリーランス案件の単価相場



平均月単価約 76 万円

年収換算 900 万円超。レバテック公開データ



CISSP が加点の案件

GRC 支援・CSIRT 構築・監査・ペネトレ等



単価の核心

上流ガバナンス案件では国際認定が信頼の裏づけとして直接評価される

● 正社員とフリーランスを正しく比較する

正社員

安定重視の選択

- ・ 額面年収で提示される
- ・ 月給で安定
- ・ 役職に年収上限が左右される

VS

フリーランス

単価で上を狙う選択

- ・ 月単価 × 稼働月数が収入
- ・ 案件継続性にリスク
- ・ CISSP で単価交渉が有利



判断の軸

まず案件相場を自分の目で確認するのが堅実な次の一歩

● まとめ



正社員 CISSP 保有者は 650 万～ 1,000 万円が現実的な年収帯



35 歳はマネジメントか専門特化かの分岐点、逃げずに選ぶ



フリーランスなら月単価 76 万円超、年収の天井を突破できる

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

